

1 団体について

団体の活動内容や抱えている課題等

【魚津市障害者連合会】

ボーリング交流会や体育大会、水泳教室、もちつき交流会などを行い、身体障がいのみでなく3障がいとともに交流する機会をつくっている。個人情報の保護により、新しい人への連絡が難しく、新たな参加者が少ない。若い障がい者の参加も少なくなっている。連合会が発足して20年以上過ぎてきたため、マンネリ化の傾向が感じられるように思う。

【魚津市手をつなぐ育成会】

若年層の会員が少ないので、支援学校へ行っている人や事業所に通う人達に育成会の活動を知ってもらうためにも、案内状を郵送し活動への参加を誘いたい、個人情報保護法で連絡しづらくて困っている。

【魚津地域家族会オアシス会】

交流（家族会）、研修会、相談活動、要望活動、広報・啓発、他障がい者団体との共同連携を行っている。課題は、①福祉サービスの充実（つながるようにすること、医療費助成や交通運賃の割引、就労、住居、居場所、訪問型支援など）、②家族会員を増やすこと、③精神障がい者に対応した地域包括ケアシステムの構築また相談支援事業所の拡充など。

【新川地区重症心身障害児者親の会「それいゆ」】

重症心身障がい児者の子どもをもつ親が、子供たちが地域で安心して毎日を送れるように情報交換の場として活動しています。各行政機関への働きかけ、勉強会、地域交流の一環としてレスパイトサービス事業の運営、「それいゆ便り」の発行、子どもたちへの発達向上のための行事、訓練事業の運営など。親、子どもにも高齢になり、日々の生活に精一杯となり、活動が大変になってきています。ボランティアさん、スタッフもなかなか集まらないのが現状です。

今後、地域の中で果たしていきたい役割

【魚津市障害者連合会】

各団体ともいろいろ相談をして、行事の進め方、運営の仕方など、連合会がもっとみんなに喜んでもらえるような事を見つめ直し、行政と相談して指導してもらい、知恵を出し合って進めていく事が必要だと思う。地域の障がい者や市民、事業者とコミュニケーションをとり、地域に密着して交流を深めていきたい。

【魚津市手をつなぐ育成会】

知的障がい者の特性を理解してもらえるように、イベントや地域で実施される活動（清掃、防災訓練等）に積極的に参加していきたい。

【魚津地域家族会オアシス会】

精神障がい者（家族も）が地域で安心して暮らしていけるように心の病と生活のしづらさを理解してもらうために、市民の皆さんに伝えていきたい。

【新川地区重症心身障害児者親の会「それいゆ」】

私たちはこれからも地域の中で、在宅で生活していきたいと考えています。自分の子供たちがいることを知ってもらうことが大切だと考えているので、なるべく外に出かけています。親も積極的にボランティア活動にも参加しており、重症心身障がい児者、医療的ケア児者の啓発も頑張っていきたいと思っています。

2 利用している障がい福祉サービス等について

会員の方がよく利用する障がい福祉サービス、制度、施設等

【魚津市障がい者連合会】

タクシーガソリン券、内部障がい者は日常生活用具給付、車いすなどの補装具の支給など。

【魚津市手をつなぐ育成会】

入所施設、通所事業所（就労B型事業所、生活介護事業所が多い）の利用。今後の生活設計等で相談支援サービスも多く利用している。

【魚津地域家族会オアシス会】

自立支援医療、障害年金、訪問看護、ホームヘルプサービス、デイケア、サポート新川利用、福祉タクシー・ガソリン券など。

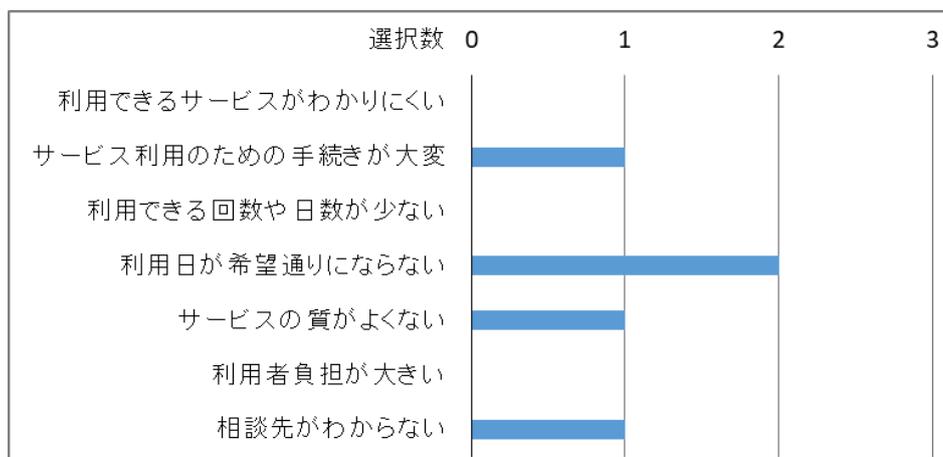
【新川地区重症心身障害児者親の会「それいゆ」】

居宅介護（ホームヘルプ、入浴介護、移送支援）、生活介護、短期入所、就労継続支援B型

上記のサービス等をよく利用する理由や満足している点

- ・車いすやストーマ装具など日常生活に必要不可欠なため。
- ・日々の生活が安定して充実した障がい者本人の持っている隠れた可能性、能力を導き出してもらえることを期待しています。
- ・ホームヘルプサービスで、ヘルパーさんと会話し楽しそうにしていることなど。
- ・毎日のデイサービス利用は、障がい児者の日常生活リズムの確立、レベル維持・向上のため、大変満足しています。また、親の仕事や親の親の介護のために時間が取れることなど満足しています。

サービス等を利用する上で、不便・不足を感じている点（3つまで選択可）



【その他】

- ・事業所での支援で人材も不足しているので、大変なことはよくわかるが、もう少し一人ひとりと向き合った支援をしていただけるように工夫や配慮があることを希望します。
- ・利用できていない方への説明や理解を十分にすること。
- ・短期入所で利用できる施設が足りない。緊急時になかなか対応できない。医療的ケア児者の施設がない。グループホームで重心の利用できる施設がない。親の高齢化に向け必要となっている。

今後充実してほしいサービス等

- ・緊急時の迅速な対応のためにショートステイの場の確保。グループホームの確保及び将来グループホームの生活へ滑らかに移行できるように、グループホームの生活体験を十分にできるように場の確保を願います。
- ・地域で就労を希望される方が多いが、数も少なく選択できない。富山市までは遠くて行けない。デイケア利用者が就労（A型、B型、一般）との間で、引きこもっている。もっとハードルの低いサービスがあ

れば地域に出ていける。居場所もその一つ。

- ・短期入所ができる施設の増加（高齢者の施設でも利用できないか？）グループホームの増加、重度障がい者等包括支援、緊急時に対応できる相談事業者の早期設立。

相談支援についての意見・要望

- ・精神障がいに対応した相談支援事業所が少ない。特に困難なケース含めて人材育成、相談所を拡充してほしい。24時間365日の相談体制、緊急時は自宅まで来て、当事者・家族に寄り添って対応してほしい。
- ・相談支援はとても満足しています。緊急時に対してもすぐに対応があり嬉しく思っています。子どものころからの状況把握によりスムーズに行えていると思います。

3 地域生活・一般就労について

障がいのある方が一般就労するために必要なこと

- ・精神障がい者枠を受け入れる企業を増やしてほしい。職場での理解や合理的配慮がなされるよう関係機関に働きかけてほしい。柔軟な労働条件（超短時間労働、休憩など）を考えてほしい。IPS（個別の就労支援プログラム）を推進してほしい。
- ・地域の人々の理解が大切。障がいのある人ない人のふれ合う場を多くして、一般の人々の理解を多くすることが大切である。
- ・交通手段の確保や障がい者用の駐車場の整備。職場の理解度を高めること。

障がいのある方が地域で生活するために必要なこと

- ・障がい特性を理解してもらえるようになりたい。
- ・私たちが家族の障がいをわかり（理解し）どのような支援や工夫で障がい者が安心して過ごせるのか、気持ちの切替方法を知り、生活の中で取り入れていくこと。余暇活動もひとつの手段であると考えられるので、今後の課題としてはどんな活動をすることが明日への勇気につながるかを考えていきたい。会としては習字教室に取り組んでいる。
- ・精神障がいのピアの活動や家族の体験を生かして地域の方や当事者、家族につながる。居場所があると出会いもできる。
- ・24時間365日の電話相談。
- ・障がい者駐車場の一般住民の理解（だれでも駐車しているのをどうにかしてほしい）。
- ・災害時の避難について、私たちの思いをきいてほしい。
- ・玄関先や入口の段差解消などのバリアフリーの推進（民間・公共施設、自宅ともに。）

4 保健・医療について

保健・医療施策についての意見・要望

- ・心の健康については、医療・保険関係者の話をきく機会を増やし、相談支援体制を充実すること。
- ・労災病院のレスパイトでの活用、医療的ケア児者の利用方法。

5 療育・教育について

療育・教育や学校生活についての意見・要望

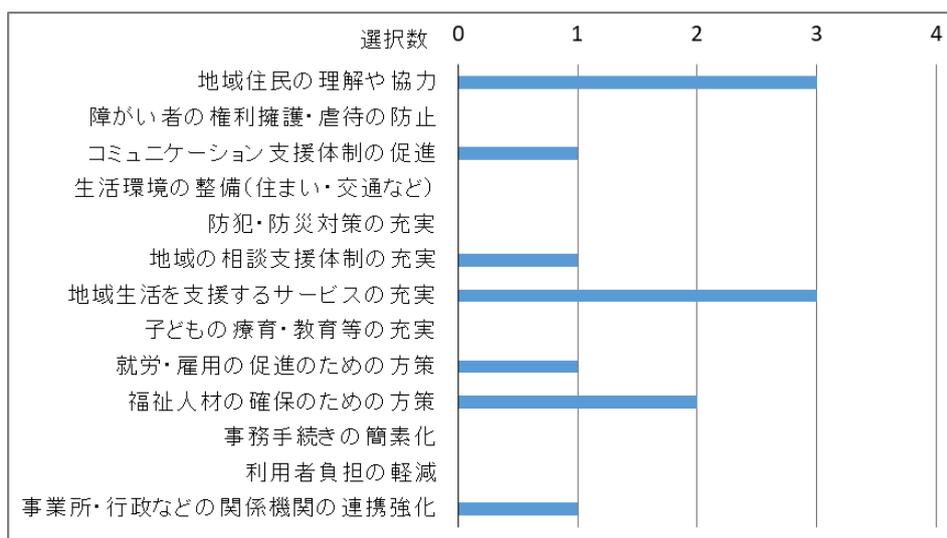
- ・新しい情報は速やかに提供してください。特に支援級に通っている人たちへの情報提供をお願いします。
- ・精神については、心の病気と生活のしづらさがほとんど知られていない。普及啓発のためには、小中高の教育課程で年代に応じた正しい理解ができるように知らせること。早期発見・早期治療につなげて、偏見を減らすようにしていく。
- ・つくし学園の整備・活用方法をもっと充実してほしい。子どもだけでなく、たくさんの障がい児者が利用できるように。

6 市の福祉施策について

これまでの市の福祉施策に対する評価

- ・魚津市は福祉に対して手厚いので感謝している。
- ・要望活動での話し合いや研修会の講師派遣、民間事業所への活用など努力されている面もあるが、魚津市独自の施策をもっと実施してほしい。
- ・今まで魚津市の障がい福祉は、新川地区では充実していました。これから財政的にはどうでしょうか。今まで以上に満足のいくように当事者、家族と話し合いをもって考えていってほしいです。

今後の障がい福祉施策の充実に向けて必要なこと（3つまで選択可）



【その他】
当事者、家族の思いを十分に反映してほしい。

今後、市の福祉施策に希望すること

- ・魚津市でいつまでも安心して生活していけるように、緊急時の対応を充実してほしい。障がい者のショートステイの十分な確保。重度の障がい者も充実したサービスが受けられる生活介護事業所の確保。
- ・①新川地域の精神保健福祉医療の取組情報をもっとわかりやすく伝えてほしい。②魚津市（新川地区の）ひきこもりの実態調査と対策を考えてほしい。③家族会、当事者（ピア）の活用を考えてほしい、声をきいてほしい。
- ・介護する者が高齢となり、親なき後のことを十分に話し合う場を設けてほしい。医療的ケア児者に対する支援、人材育成のための支援、重症心身障がい児者の短期入所施設・病院を充実してほしい。
- ・手話教室は、長い年月、開催し、勉強していると思うが、人間が育たないのか、市に登録者がいないのか、手話通訳の派遣について、富山に一度申し込みしなくても利用できる方法にできないでしょうか。

7 自由回答

その他、自由意見

- ・魚津市だけでは難しいため、近隣市町村と十分に連携をとって、私たちの子どもたちが長く在宅で住み慣れた地域で安心安全に暮らしていけるように強く望みます。